

表 5・1 令和 4 年度事業報告 (その 1)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
公1・編集出版事業	
有機合成化学協会誌	
第 80 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 4,400 部、総頁数 1,196 普通号 10 回；特集号 2 回(第 5 号「金属錯体が拓く有機合成」；第 11 号 Special Issue in English) 掲載内容：巻頭言 12 頁(12 件)、総説 26(2)、総合論文 767(69)、Review de Debut 20(10)、ラウンジ 83(8)、ケミカルズ覚え書き 0(0)、十字路 11(44)、感動の瞬間・MyPR 52(14)、新しい合成 44(177)、会告・協会記事等 232、広告 143 (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2022 年度分を掲載。	
単行本の編集・出版	
該当なし	
公1 関連会議	
有機合成化学協会誌編集委員会(1/24, 3/30, 11/24)オンライン併用、(5/27, 7/20, 10/4)オンライン	
公2・研究会事業	
シンポジウム【本部】	
第 120 回有機合成シンポジウム；6/28～6/29；オンライン 口頭発表 33 件 優秀発表賞 3 件表彰 共催：九州大学総合理工学府、日本化学会、日本薬学会	105(31)
第 121 回有機合成シンポジウム；11/8～11/9；早稲田大学国際会議場 オーラル&ポスター発表 31 件；ポスター発表(ショートプレゼンテーション有り)10 件 合計 41 件 優秀ポスター賞 5 件表彰 共催：日本化学会、日本薬学会、早稲田大学理工学術院総合研究所	165(80)
多様性推進シンポジウム；9/15；化学会館・オンライン併用 【講演】Connecting the dots: 多様性がなければ創造性は生まれない (東北大学副学長/広報・ダイバーシティ担当) 大隅典子 共催：日本化学会、日本薬学会、日本薬学会医薬化学部会	239(35)
シンポジウム【北海道支部】	
第 34 回万有札幌シンポジウム；10/8；北海道大学鈴木章ホール・オンライン併用 招待講演 5 件、学生ショートトーク発表 16 件 1.【MBLA 受賞講演】スルホニル基を活かした逐次的分子変換反応の開発(名大トランスフォーマティブ生命分子研) 南保正和 2.有機分子触媒を利用する目的志向型天然物全合成(千葉大院薬) 石川勇人 3.新物質創造で探る電子対の新しい姿(阪大院理) 久保孝史 4.新しい特性を有するアルケン,アルキンの創製と応用(九大先導物質化研) 友岡克彦 5.有機合成で挑む免疫制御(阪大院理) 深瀬浩一 主催：万有札幌シンポジウム組織委員会、協賛：公益財団法人 MSD 生命科学財団、共催他団体：日本化学会北海道支部、北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター、北海道大学化学反応創生研究拠点 WPI-ICReDD	約 450
若手研究者のための有機化学札幌セミナー；7/1；オンライン 1.有機・超分子的手法に基づいた金クラスター集積ナノ構造の創出(北大院地球環境科学) 齋藤結大 2.超原子価ヨウ素化合物を用いたアスタチン-211 放射標識システムの開発(北大院理) 松岡慶太郎 3.β-ジケトン基を有する光合成色素分子クロロフィルの合成に関する研究(北大化学反応創成) 木下雄介 4.炎症収束性脂質レゾルビン類をプロトタイプとする創薬化学研究(北大院薬) 藤原広一 5.直鎖状分子からの環骨格一挙構築を基盤とした天然物合成戦略(阪公大院理) 西川慶祐	171(126)
シンポジウム【東北支部】	
第 33 回万有仙台シンポジウム；5/21；仙台国際センター大ホール・オンライン併用 主催：万有仙台シンポジウム組織委員会	442(320)

表 5.2 令和 4 年度事業報告 (その 2)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【東北支部】のつづき	
仙台地区秋の講演会；10/22；東北大学理学部大講義室・オンライン併用 1.シリルボランの新しい合成法とそれを用いたオリゴシランの連続合成（北大院工）伊藤肇 2.医薬品のプロセス化学を支える基盤技術－触媒スクリーニングと結晶スクリーニング－ （スベラファーマ）山野光久 3.生物活性天然物の全合成研究（東北大院農）桑原重文	195(122)
化学系学協会東北支部大会；9/17-18；岩手大学理工学部 有機化学関連ポスター発表 58 件 主催：日本化学会東北支部	522(296)
有機化学コロキウム；9/17；岩手大学理工学部	40(-)
第 37 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー；12/10；東北大学理学部大講義室・オンライン併用 学生発表件数 16 件	183(144)
シンポジウム【関東支部】	
第 82 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(横浜国大シンポジウム) 5/21；横浜国立大学常盤台キャンパス；特別講演 2 件、一般研究発表 48 件 1.生体内合成化学治療（東工大物質理工/理研）田中克典 2.キノリノトロジウム触媒を用いる末端アルキンの新規変換反応の開発（慶大理工）垣内史敏 共催：日本化学会、日本薬学会	167(96)
第 83 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新津シンポジウム) 11/26-27；新潟薬科大新津駅東キャンパス；特別講演 3 件、一般研究発表 73 件 1.独自の反応を用いたマクロライド系天然物の全合成研究（工学院大先進工/関東支部長）南雲紳史 2.スマネン合成から 20 年（阪大院工）櫻井英博 3.窒素原子を含む結合活性化学種の発見と機能（東大院薬）大和田智彦	159(83)
若手研究者のためのセミナー；7/30；東京大学薬学系総合研究棟・オンライン併用 講演 9 件 1.計算主導型有機合成化学（千葉大院薬）中島誠也 2.ストレプトシアニンの合成的利用（学習院大理）諸藤達也 3.反応活性種の直接光励起を利用するホウ素化・スズ化反応（東工大物質理工）永島佑貴 4.天然物の効率的合成を目指して：アンモニアフリー-Birch 還元の開発（星薬大薬）加茂翔伍 5.キラルハロゲン結合ドナー触媒として機能する超原子価ハロゲン化合物の開発（千葉大院工）吉田泰志 6.触媒的エステル交換による PET 常温解重合法の開発（産総研触媒化学融合研セ）田中真司 7.がんが普遍的に過剰生産するアクロレイン代謝物：生組織でのカスケード反応によるがん診断・治療への応用（東工大物質理工）プラディプタ アンバラ 8.金属配位サイトの環状配列と精密分子認識を志向した大環状分子の合成 （筑波大数理物質系）中村貴志 9.イナミドから生じるメタルピリデン中間体を基盤とした触媒的含窒素複素環構築法の開発 （明治薬大薬）田湯正法 10.縮環天然物の合成研究（筑波大数理物質系）大好孝幸	214(119)
シンポジウム【東海支部】	
有機合成セミナー；7/26；オンライン 1.タンデムヘテロ Friedel-Crafts 反応が拓く新材料化学（京大）畠山琢次 2.脳内のアミロイドタンパク質を除去する化学触媒（和歌山県立医科大）相馬洋平 3.新反応開発：結合活性化から求核触媒の新展開まで（阪大）鷹巣守	70(28)
若手研究者のためのセミナー；7/19；オンライン；招待講演 3 件 1.元素・結合・反応場の特性を活用する反応設計と分子機能創出（東大）滝田良 2.非遷移金属触媒系を用いる CO <sub>2</sub> 光還元反応の開発（神戸大）松原亮介 3.遷移金属触媒による二酸化炭素を C1 ユニットとして利用したカルボキシル化反応の開発 （北大）佐藤美洋	97(55)

表 5.3 令和 4 年度事業報告 (その 3)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【東海支部】のつづき	
<p>第 53 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会；11/5-7；愛知工業大学（オンライン） 【特別討論会】「有機化学の新展開」 &lt;依頼講演&gt; 1.有機 <math>\pi</math> 共役分子の骨格内部を探索空間とする新物質創製（名大）福井識人 2.脱炭酸のハロゲン化反応を利用したキラルスピロ化合物の合成（豊橋技科大）柴富一孝 3.イミノ窒素への極性転換反応と含窒素化合物への展開（三重大）溝田功 4.安定有機ラジカルが示すスピン相関発光機（分子研）草本哲郎 &lt;招待講演&gt; 1.天然物合成化学の新しい展開を目指して（東大）大栗博毅 2.ラジカルを制御する分子性触媒（京大）大宮寛久</p>	82(68)
<p>有機合成化学総合講演会；12/8；信州大（オンライン） 1.基質認識型・超強塩基性有機分子触媒の創製（東北大院理）寺田眞浩 2.<math>\alpha</math>-アミノアルキルラジカルを用いる含窒素ヘテロ環合成（北里大薬）伊藤謙之介 3.プロアントシアニジンオリゴマーの合成と生物活性（信州大農）眞壁秀文</p>	38(27)
シンポジウム【関西支部】	
<p>第 42 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のためのセミナー) 8/10；オンライン；若手研究発表 50 件 1.構造制御による金属種の創成と選択的反応への展開（阪大院工）安田誠 2.機能性分子を指向したフッ素化-<math>\beta</math>-ラクタムの構造変換（摂南大薬）樽井敦 3.高反応性分子を活用した高次縮環芳香族化合物の合成（関学大生命環境）羽村季之 4.マイクロリアクター研究が導く高速合成化学（北大院理）永木愛一郎 5.創薬化学分野における共同発明の発明者認定の重要性（高島国際特許事務所）當麻博文 6.光受容機能解明を目指したフィトクロム発色団の合成（金沢大院理工）宇梶裕</p>	297(214)
<p>2022 年度有機合成化学北陸セミナー；10/7；センチュリオンホテル リゾート&amp;スパ テクノポート福井 1.電子触媒クロスカップリング反応（関学大生命環境）白川英二 2.<math>\alpha</math>-キラル <i>N</i>-スルホニルイミンへのプロキラル求核剤の付加：理論計算による立体制御因子の解明（岐阜大工）安藤香織 3.材料化学の視点から挑むペロブスカイト太陽電池の高性能化研究とその実用化（京大化研）若宮淳志 4.アトピー性皮膚炎治療薬 デルゴシチニブのプロセス開発（日本たばこ）小野木照二 発表件数(口頭)11 件；(ポスター)59 件</p>	153(118)
シンポジウム【中国・四国支部】	
<p>若手研究者のためのセミナー(第 36 回若手化学者のための化学道場)；9/12-13；岡山大学津島キャンパス；世話人：岡山大学 【特別指南講演】 可逆反応と不可逆反応を組み合わせたドミノ触媒反応の開発（岡山大）三浦智也 【師範講演】 1.ヘテロアセン類の効率的合成法の探索（岡山大）光藤耕一 2.<math>\pi</math> 電子系化合物の反応開発と光機能開拓（徳島大）八木下史敏 3.キラルなグアニジン触媒を用いた不斉シリル化反応による速度論的光学分割法の着想から展開（島根大）中田健也 4.キラルナフタレン多量体と発光団から成る円偏光発光色素（岡山大）高石和人 5.センブライドジテルベンの一元的全合成に関する研究（岡山大）高村浩由 6.高歪炭化水素分子テトラヘドランと反芳香族分子シクロブタジエンの合成と構造（広島大）中本真晃 7.ホウ素 Lewis 酸-キラルリン酸複合触媒を用いるマルチ選択的 Diels-Alder 反応(神戸薬大)波多野学 学生発表件数：37 件</p>	95(73)

表 5・4 令和 4 年度事業報告 (その 4)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生 数)
シンポジウム【九州・山口支部】	
第 34 回若手研究者のためのセミナー；8/20；九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I 特別講演 1 件 炭素及び窒素カチオンを機軸とする有機化学（金沢大院薬）国嶋崇隆 招待講演 1 件 分子性材料ならではの光機能発現を目指して（九大院工）楊井伸浩 受賞講演（ポスター賞）11 件；企業紹介 2 件	95(67)
第 38 回有機合成化学セミナー；9/28-30；アクティブリゾート福岡八幡 【招待講演】 1.『混乱から創造へ』—混乱型ポルフィリノイドの創製と展開（立命館大総合科技研）古田弘幸 2.フロー化学を通じた古典的活性種の理解と応用（名大院創薬科学）布施新一郎 3.稠密に官能基化された天然物の合成研究：複雑な分子を読み解く（東工大理）大森建 4.有機触媒反応を活用したペプチド合成と後期修飾法の開発（京大院薬）竹本佳司 5.トリフルオロメチル化反応の新展開（群馬大院理工）網井秀樹 6.東ソーのハロゲン化学と有機合成（東ソー）宮崎高則 7.自己集合により形成される超分子構造の合成と機能（広島大院先進理工）灰野岳晴 8.結合の新しい反応性を引き出す楽しみ（阪大名誉教授）茶谷直人 【令和 3 年度有機合成化学協会奨励賞】受賞講演 1.レドックス化学による高歪有機分子の構築と機能開拓（北大院理）石垣侑祐 2.高活性プレンステッド塩基が拓く炭素-水素・炭素-酸素結合の直截的分子変換(東北大院薬)重野真徳 3.タンパク質全合成のためのペプチド連結化学（名大院工）林剛介 4.精密糖鎖合成を基盤としたグリココード解読と利用（阪大院理）真鍋良幸 5.不斉合成を変革する動的らせん高分子触媒の開発（京大院工）山本武司 【2022 Mukaiyama Award】受賞講演 1.Strained Intermediates and Chemical Education (University of California, Los Angeles, U.S.A.) Pro.Neil Garg 2. 3 価ヨウ素化合物の新しい反応と合成の探求（東北大院薬）吉戒直彦 【2022 Lectureship】受賞講演 1.Designing Catalysts and Reactions for the P(III)/P(V)=O Couple (Massachusetts Institute of Technology, U.S.A.) Pro.Alexander T. Radosevich ポスター発表：98 件 共催：本部	206(104)
講習会【本部】	
2022 年度 有機合成化学講習会；12/20；ワイム貸会議室お茶の水 テーマ：『フロー合成と電解合成の最先端、そしてデジタル有機合成への展開』 ◇講義 1.フローリアクターが革新する新たな有機電解合成プロセス（横浜国大院工）跡部真人 2.電解グリコシル化反応のオリゴ糖自動合成への応用（鳥取大院工）野上敏材 3.フロー反応の活用によるデジタル有機合成の推進（九大院薬）大嶋孝志 ◇情報交換・交流会 共催：日本化学会、日本薬学会	37(0)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 9 回勉強会；7/15；オンライン 1.機械学習によるロボットの作業スキル獲得（奈良先端大）松原崇亮 2.バイオ DX によるスマートセル開発とバイオ生産プロセスへの応用（神戸大）蓮沼誠久	79(2)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 10 回勉強会；12/22；ワイム貸会議室お茶の水・オンライン併用 1.最少学習データによるデータ駆動型精密有機合成：反応開発を加速する機械学習ベイズ最適化による反応条件最良化（阪大産研）滝澤忍 2.量子化学計算に基づく化学反応の予測（北大院理）前田理	118(5)

表 5.5 令和 4 年度事業報告 (その 5)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
講習会【本部】のつづき	
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 7 回勉強会；8/26；オンライン 1.疾患に対抗するオートファジー（東北大院生命科学）有本博一 2.大阪大学におけるアスタチン-211 核医学治療薬の開発（阪大院理）深瀬浩一 3.タンパク質工学で特定部位の免疫を活性化したり不活性化する(Imperial College London)石原純	70(2)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 8 回勉強会；12/8；ワイム貸会議室お茶の水 1.LassoGraft Technology®が拓く新たなバイオロジクスの世界/日本の創薬イノベーションの課題へのチャレンジ（ミラバイオロジクス）加藤益弘 2.核酸デリバリーに向けた高分子ナノ医薬の精密構造設計（東大院工）宮田完二郎 3.新規バイオナトランスポーターの開発と医療応用（京大院工）秋吉一成 ◇交流・情報交換会	42(0)
講習会【東北支部】	
青森地区講演会；11/4；弘前大学創立 50 周年記念会館みちのくホール 1.カーボンナノチューブの世界によこそ（東北大院理）齋藤理一郎	72(66)
山形地区講演会；12/15；山形大学理学部 S401 教室・オンライン併用 1.触媒的ヘテロ環合成法の開発（山形大院理工）皆川真規 2.配位子の電子的効果による触媒的 C-C 結合生成反応の加速（岩手大理工）是永敏伸	27(21)
講習会【関西支部】	
有機合成 2 月セミナー「有機合成のニュートレンド 2022」；2/3；オンライン 1.有機合成化学で挑むこれからのナノカーボン分子科学（東大院理）磯部寛之 2.ペプチド合成の進化と医薬品としてのペプチドの重要（ペプチドリーム）舩屋圭一 3.光触媒的一電子注入法が拓く分子変換技術（日本工大基幹工）小池隆司 4.“Undruggable Target”を“Druggable”に変えるタンパク質分解誘導薬の新動向(エーザイ)大和隆志 5.平面四座 PNNP 配位子を有する 3d 金属錯体の金属-配位子協働効果と触媒作用（産総研）中島裕美子 6.有機ニトロキシラジカル-遷移金属協奏触媒による空気酸化的精密分子変換(東北大院薬)岩淵好治	247(156)
有機合成夏期セミナー「明日の有機合成化学」；8/29；大阪科学技術センター 1.有機合成化学研究者が高分子合成を始めてみたら（京大化研）山子茂 2.計算化学による反応機構解析と機械学習による触媒設計（慶大理工）畑中美穂 3.量子化学計算に基づく化学反応探索を目指して（北大 ICReDD）前田理 4.企業における有機合成研究の技術力向上と課題解決（ダイセル/京大エネルギー理工）北山健司 5.α-四置換型非天然 α-アミノ酸の新規触媒的合成法の開発と「デジタル有機合成」（九大院薬）大嶋孝志	76(26)
懇談会【本部】	
2022 新春特別フォーラム；1/19；ワイム貸会議室お茶の水+オンライン(Zoom, oVice)併用 [第 I 部 講演] 基調講演(1)「製薬会社におけるケミストの意地と知恵」(東和薬品)内川治 基調講演(2)「有機合成は自由を創る原動力」(東農工大)千葉一裕 [第 II 部 オンライン賀詞交換会] (oVice で開催) 共催：有機合成化学協会関東支部	93(0)
2022 中堅・若手リーダーのための YUGOKAFe[ユウゴウカフェ](講演 & 討論会)；12/6；早稲田大学リサーチイノベーションセンター/コマツ 100 周年記念ホール・会議室 [第 I 部：講演] 1.有機合成が切り開くイノベーション（中部大）満田勝 2.有機合成化学協会、『一期一会』（北里大）砂塚敏明 [第 II 部：グループ討論] [第 III 部：情報交換・交流会]	72(0)

表 5・6 令和 4 年度事業報告 (その 6)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【本部】のつづき	
学生のためのセミナー（企業の若手研究者との討論・交流会）・第 7 弾；11/19；オンライン 1. パネラーのプレゼンテーション (1) 富士フィルムの有機材料開発～自己紹介と業務紹介～（富士フィルム）飯泉隆史 (2) 製薬企業での研究と日常の紹介（大正製薬）岡田久美子 (3) Working as a medicinal chemist at Takeda (and connecting the dots backwards)（武田薬品工業）笠原敬仁 (4) 日産化学の創薬技術開発～医薬研究部の事例紹介～（日産化学）丹羽雅俊 (5) 医薬・マテリアルの企業研究（東レ）野上摩利菜 (6) 役立つモノをつくるには～楽しい・大変・だけ じゃない？～（クラレ）野口大樹 2. ブース形式懇談会 3. 全体総括	44(44)
令和 3 年(2021 年)度企業冠賞受賞講演会；10/17；オンライン；受賞講演 5 件 1.【富士フィルム・機能性材料化学賞】 高性能かつロバスタな p 型および n 型有機半導体の開発（東大院新領域）岡本敏宏 2.【カネカ・生命科学賞】 標的選択的なオートファジー制御技術の開発（東北大院生命科学）有本博一 3.【シオノギ・低分子創薬化学賞】 生合成プロセス拡張による骨格多様化合成法の開発と創薬リード創製（東大院理）大栗博毅 4.【東ソー・環境エネルギー賞】 電解および光レドックスシステムを用いた環境調和型物質変換システムの開発（九大院工）鳶越恒 5.【日産化学・有機合成新反応/手法賞】 触媒的骨格転位反応を基盤とする新合成手法の開発（東北大院理）中村達	169(12)
懇談会【関東支部】	
有機合成化学ミニシンポジウム①；4/26；化学会館・オンライン併用 1. シガトキシンの全合成とその後 地の利・人の和・好奇心 もう一度やるのだ、断固やるのだ（東北大名誉教授・阪府大客員教授・株式会社アクロスケール取締役）平間正博	233(86)
有機合成化学ミニシンポジウム②	中止
有機合成化学ミニシンポジウム③(ミニシンポジウム千葉 2022)；10/24；千葉大学 1. 特殊ヘテロ環の化学（慶大薬）熊谷直哉 2. 生体内合成化学治療（東工大物質理工/理研）田中克典 3. 人にやさしく、環境にやさしい香料素材の研究開発（高砂香料工業）江村誠	77(59)
有機合成化学ミニシンポジウム④	中止
合同ミニシンポジウム「学生シンポジウム－情熱と知性の融合－」；12/17；オンライン 1. 人工知能で挑む有機分子設計（理研）隅田真人 2. 炭素－水素結合活性化を経る不斉付加反応（大阪公立大院理）西村貴洋 3. キラリティに魅せられて（東理大薬）高橋秀依 4. 窒素-窒素結合が繰り出す多様性を活用した複素環合成（神戸薬大）上田昌史 5. 天然物合成における試行錯誤：複雑な構造を読み解く（東工大理）大森建	180(68)
有機合成化学談話会(湯河原セミナー)	中止
懇談会【東海支部】	
訪日学者講演会；6/3；名古屋大学 Dr. Dominique Cahard Research Director CNRS (National Centre for Scientific Research) Normandie University, France	63(51)
訪日学者講演会；12/12；岐阜薬科大学 Gauravjoti Dutta Kalita, Ph.D. Assistant Professor Department of Chemistry, Dibru College, Dibrugarh, Assam, India	40(32)

表 5.7 令和 4 年度事業報告 (その 7)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<b>懇談会【関西支部】</b>	
有機合成新春講演会；1/17；オンライン 1.免疫システムから学んだこと：進化分子工学による人工生体分子(抗体酵素，ペプチド中分子医薬)の設計と創出（阪府大院理）藤井郁雄 2.人工遺伝子スイッチによるエピジェネティック創薬（京大院理）杉山弘 3.二重活性化型不斉触媒の創製（阪大産研）笹井宏明 4.0から1を目指して—炭素-炭素結合を切る化学（京大院工）村上正浩 5.配向基：不活性な結合を利用した有機合成（阪大院工）茶谷直人	185(31)
セミナー-化学千一夜「明日の化学への夢を語ろう」	中止
<b>懇談会【中国・四国支部】</b>	
第 81 回パネル討論会；5/14；広島大学 1.低温現象を室温で顕在化する炭化水素 COPV の開発と光機能性材料への応用（神奈川大理）辻勇人 2.高性能有機半導体材料の設計・合成技術（東大院新領域科学）岡本敏宏	50(20)
第 82 回パネル討論会または有機合成ミニシンポジウム 2022	開催延期
来日学者講演会；11/2；岡山大学 (Un)usual Phosphorus-based Concepts for Organic Materials Prof. Thomas Baumgartner (York University, Canada)	54(42)
来日学者講演会；11/14；岡山大学 Hydrogen Activation by Non-precious Metals Prof. Jun Okuda (RWTH Aachen University, Germany)	54(43)
第 19 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム；12/16-17；広島大学 口頭発表 (A) (20 分)、口頭発表 (B) (15 分)；学生発表件数 16 件 主催：ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会	45(28)
<b>懇談会【九州・山口支部】</b>	
第 1 回有機合成化学講演会；6/3；九州大学病院キャンパス視聴覚ホール・オンライン併用 招待講演 2 件 1.ゴムの加硫促進剤、加硫剤のベース技術から始まった、硫黄系化合物の機能創出と企業化（三新化学工業）高下勝滋 2.古典的有機光反応化学の新展開（東工大）鷹谷絢	89(28)
第 59 回化学関連支部合同九州大会；7/2；北九州国際会議場 招待講演：8 件 【有機化学講演】有機電解合成のすゝめ（九大院工）鳥越恒 ポスター発表 533 件；有機化学 69 件 主催：化学関係九州支部 担当：農芸化学会西日本支部	-(-)
来日学者講演会	中止
<b>見学会</b>	
本部；九州山口支部：実施なし	
<b>公 2 関連会議</b>	
有機合成化学協会事業委員会；5 回(3/15,5/10,7/14,10/7,12/2)；化学会館・オンライン併用 第 120 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(5/24)；オンライン 第 121 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(7/14)；化学会館・オンライン併用 有機合成化学講習会企画準備委員会；1 回(6/21)；化学会館 中堅・若手リーダーのための YUGOKAFe 企画委員会；2 回(6/10,11/10)；オンライン 学生のためのセミナー企画委員会；2 回(6/23,11/7)；オンライン 「AI と有機合成化学」研究部会/幹事会；2 回(4/19,12/22)；オンライン 「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会/幹事会・担当幹事会議；3 回(4/13,6/1,8/31)；オンライン	

表 5・8 令和 4 年度事業報告 (その 8)

事業の名称および事業の概要	担当機関
公 3. 表彰事業	
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)	
理事による候補者推薦 ; 6~8 月郵便による投票	理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考 ; 10/12 ; オンライン ●鳥居滋 (岡山大名誉教授) 業績 : 有機電解合成を主軸とする有機合成の展開 表彰式・受賞講演(R5 年 2/15)	賞選考 委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞 : 3 件 ; 奨励賞 : 5 件採択)	
各支部推薦委員会 ; ~7 月	賞選考 委員会
奨励賞書面審査 ; 実施	
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会 ; 10/11~10/12 ; オンライン	
【有機合成化学協会賞(学術的なもの)】 ●井上将行 (東大院薬) 業績 : 巨大複雑天然物の全合成と構造類縁体の網羅的創出 ●桑原重文 (東北大院農) 業績 : 顕著な生物活性を有する特異構造天然有機化合物の全合成研究 【有機合成化学協会賞(技術的なもの)】 ●中村嘉孝 他 4 名 (第一三共) 業績 : 不斉有機触媒を用いる神経障害性疼痛薬ミロガバリンの高効率 率的合成法の開発 【有機合成化学奨励賞】 ●井本裕頭 (京都市芸繊維大院工芸科学) 業績 : 炭素-ヒ素結合形成反応の開発に基づく機能性有機 ヒ素化学の創出 ●小田木陽 (東京農工大) 業績 : 脱芳香族化反応を活用した多環縮環型アルカロイド類の全合成 ●小西彬仁 (阪大院工) 業績 : 金属種を活用した奇数員環構築が拓く新しい非交互炭化水素類の合 成と機能解明 ●清水章弘 (阪大院基礎工) 業績 : <i>m</i> -キノジメタンを基盤とする縮合多環ジラジカル の創出 ●下山敦史 (阪大院理) 業績 : 複合糖質の化学合成が拓く細菌-宿主間ケミカルエコロジー 表彰式(R5 年 2/15) 受賞講演 : 協会賞(学術的なもの : R5 年 2/15 ; 技術的なもの : 日時未定) 奨励賞(R5 年 9 月)	
受賞講演 : 協会賞(学術的なもの : R5 年 2/15 ; 技術的なもの : 日時未定) 奨励賞(R5 年 9 月)	
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)	
Mukaiyama Award 委員会 ; 2023 受賞者選考委員会 8/10 ; オンライン	Mukaiyama Award 委員会
●熊谷直哉 (慶大薬) The development of synthetic methodologies driven by cooperative catalysts, unique heterocycles, and quinoline oligomers. ●Sarah E. Reisman (California Institute of Technology Pasadena, U.S.A.) The rapidly advancing field of Ni-catalysis, with an emphasis on asymmetric reductive cross-coupling reactions. 表彰式・受賞講演 ; R5 年 9 月	
Lectureship Award	
●Alexander T. Radosevich (Massachusetts Institute of Technology, U.S.A.) Designing Catalysts and Reactions for the P(III)/P(V)=O Couple 表彰式・受賞講演 ; R4 年 9/29 (2022 年度)	九州山口 支部
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 4 件採択) ; 書面審査(郵便 ; ~11/20)	
【カネカ・生命科学賞】 ●田中克典 (東工大/理研) 業績 : 生体寛容性人工金属酵素の開発を基盤とした生体内合成化学治療 【東ソー・環境エネルギー賞】 ●藤原哲晶 (京大) 業績 : 環境調和に立脚した二酸化炭素を炭素源とする触媒的有機合成反応の開発 【日産化学・有機合成新反応/手法賞】 ●新谷亮 (阪大) 業績 : 拡張 $\pi$ 共役分子の迅速合成を可能にするロジウム触媒を用いた縫合反応の開発 【富士フイルム・機能性材料化学賞】 ●安田琢磨 (九大) 業績 : 高速スピン変換を基軸とする革新的有機発光材料の創製 表彰式(R5 年 2/15) ; 受賞講演(R5.日時未定・オンライン)	企業冠賞 選考委員会

表 5・9 令和 4 年度事業報告 (その 9)

事業の名称および事業の概要	担当機関
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
<p>野依賞委員会 ; 2022 受賞者選考委員会 8/3 ; オンライン</p> <p>●Gregory C. Fu (California Institute of Technology, U.S.A.) Professor Fu has made important contributions to the development of new synthetic methods based on his original design of catalysts and reactions. Fu designed planar-chiral nucleophilic catalysts by fusing DMAP to ferrocene for a variety of asymmetric reactions as represented by acylative kinetic resolution. This achievement, where nitrogen atoms in designed catalysts function as a "working element" in asymmetric catalysis, served as an early contribution to the field of "asymmetric organocatalysis". Fu's research interests also include transition-metal catalysis. He established a way to utilize unreactive chloroarenes in Pd-catalyzed <math>sp^2</math>-<math>sp^2</math> cross-couplings using tri-<i>t</i>-butylphosphine as a ligand. Fu then turned his attention to asymmetric <math>sp^3</math>-<math>sp^3</math> carbon-carbon bond-forming cross-couplings using chiral nickel catalysts. His work on enantioconvergent reactions of racemic electrophiles is particularly notable. Fu also succeeded in asymmetric <math>sp^3</math> carbon-heteroatom bond-forming cross-couplings using chiral copper catalysts under irradiation of light. Unlike conventional transition metal/photosensitizerbinary catalyst systems, his system needs only a single catalyst. 表彰式・受賞講演 ; R5 年 2/15</p>	野依賞委員会
支部表彰	参加者数 総数(学生数)
<p>【関西支部】 第 20 回支部賞授賞講演会 ; 11/21 ; 大阪科学技術センター 1.有機電子移動反応により生じる活性種に着目した合成化学 (近畿大理工) 松本浩一 2.金触媒を用いた連続反応を基軸とする多置換含窒素複素環の de novo 構築法の開発 (富山大学術研) 杉本健士 3.バンレイシ科アセトゲン類をモチーフとする新規抗がんリード化合物の創製研究 (京都薬大) 小島直人</p>	34(0)
<p>【中国・四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」 ; 11/26 ; 岡山大学 【支部奨励賞受賞講演】 新規複素多環芳香族化合物を主骨格とする有機半導体材料の開発 (岡山大異分野基礎科研) 森裕樹 【特別招待講演】 反芳香族化合物 : 再考 (台湾国立陽明交通大學, 阪大産研) 戸部義人</p>	101(71)
<p>【九州・山口支部】 支部各賞選考委員会 ; 6/3 ; 九州大学病院キャンパスコロバ・ステーション I ・オンライン併用</p>	-(-)
<p>【九州・山口支部】 第 32 回万有福岡シンポジウム ; 6/4 ; 九州大学椎木講堂・オンライン併用 ; 支部ポスター賞 (2 名) 主催 : 万有福岡シンポジウム組織委員会</p>	-(-)
<p>【九州・山口支部】 第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式 ; 10/24 ; 九州大学伊都キャンパス 支部賞受賞講演 : 3 件 【優秀論文賞】 ●Iridium-Catalyzed C(<math>sp^3</math>)-H Borylation Using Silyl-Bipyridine Pincer Ligands (九大先導研) 鳥越尊 ●Quadruple Role of Pd Catalyst in Domino Reaction Involving Aryl to Alkyl 1,5-Pd Migration to Access 1,9-Bridged Triptycenes (九大先導研) 岩田隆幸 【奨励賞】 ●高効率な均一系・不均一系触媒反応の開発 (九大院理) 山本英治 【招待講演】1 件 ●ハーバー・ボッシュ法を超えるアンモニア合成法への挑戦 (東大院工) 西林仁昭</p>	107(69)

表 5・10 令和 4 年度事業報告（その 10）

事業の名称および事業の概要	担当機関
他 1・共益事業	
ゆうごう会	
ゆうごう会（東京；大阪）	中止
海外視察団派遣	
海外視察団派遣；実施なし	
技術アドバイス事業	
技術アドバイス事業；申請なし	
研究企画賞	
研究企画賞選考委員会；11/16；オンライン；22 件採択	担当機関
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 味の素研究企画賞：山下泰信（大阪大学） キメラ分子の迅速の開発を指向した酵素によるリンカー選択的還元のアミノ化反応の開発と応用</li> <li>● 関東化学研究企画賞：友原啓介（九州大学） 不斉アンモニア-Ugi 反応の開発と非天然型 <math>\alpha,\alpha</math>-2 置換アミノ酸含有特殊ペプチドの合成</li> <li>● コニカミルタ研究企画賞：齋藤雄太郎（東京大学） 多価不飽和脂肪酸ライブラリー構築を指向した固相合成法の確立</li> <li>● 塩野義製薬研究企画賞：大村修平（名古屋大学） 元素戦略で挑む鉄触媒を用いる不斉 C-H フッ素化反応</li> <li>● 第一三共研究企画賞：小田木陽（東京農工大学） アザ-ベンジル酸転位反応による環縮小に基づくパクタマイシンの全合成研究</li> <li>● 大正製薬研究企画賞：友重秀介（東北大学） プロテアーゼの直接利用に立脚した細菌・ミトコンドリアで機能する次世代タンパク質分解薬の創製</li> <li>● ダイセル研究企画賞：横尾英知（京都府立医科大学） 長鎖核酸を認識するペプチド核酸の二次構造制御を基にした新規開発</li> <li>● 田辺三菱製薬研究企画賞：梅原厚志（東北大学） 低反応性窒素求核剤とカルボン酸の高効率化学選択的 one-pot アミド結合形成反応</li> <li>● 中外製薬研究企画賞：南條毅（京都大学） 高還元力を有する求核性有機光触媒システムの確立と応用</li> <li>● DIC 研究企画賞：信田尚毅（横浜国立大学） 植物由来原料を用いた 2 官能性モノマーの合成と重合および分解</li> <li>● 帝人ファーマ研究企画賞：松尾和哉（京都工芸繊維大学） 光制御型薬剤を効率的に獲得する分子システムの構築</li> <li>● 東ソー研究企画賞：田中健太（岡山大学） 短寿命活性種の光触媒的発生を基盤とした <math>\pi</math> 共役分子のフロー合成</li> <li>● 東ソー・ファインケム研究企画賞：河村伸太郎（理化学研究所） パーフルオロカルボン酸の合成化学的ケミカルリサイクル手法の開発</li> <li>● 日産化学研究企画賞：浜田翔平（京都薬科大学） ピアリアルカルボン酸構造に基づく距離認識型触媒の創製とアミノ酸のサイト選択的 C-H 官能基化法の開発</li> <li>● 日本触媒研究企画賞：中村智也（京都大学） 鉛フリーペロブスカイト太陽電池の高性能化を実現する単分子電子回収材料の開発</li> <li>● 富士フイルム研究企画賞：黒木堯（京都大学） 多重反応性を有する金属カーバイド反応剤の開発と新規増炭反応の開拓</li> <li>● 富士フイルム和光純薬研究企画賞：大石雄基（富山大学） 大環状触媒を利用した糖類の位置選択的誘導化法の開発</li> <li>● 保土谷化学工業研究企画賞：鳥海尚之（東京大学） 「金属芳香族性」を有する近赤外有機分子の開発と応用</li> <li>● 三井化学研究企画賞：山科雅裕（東京工業大学） 自己相補性に基づくメタルフリーな超分子集合体の創製と光機能 (次ページへつづく)</li> </ul>	研究企画賞 選考委員会

表 5・11 令和 4 年度事業報告（その 11）

事業の名称および事業の概要	担当機関
<p>(前ページのつづき)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 三菱ガス化学研究企画賞：佐古真（大阪大学） 機械学習を活用する有機反応開発の加速化：溶媒効果の定量的説明、条件最適化および反応機構解析への応用</li> <li>● 三菱ケミカル研究企画賞：葛原大軌（岩手大学） 反芳香族分子ピラシレンを組み込んだ共有結合性有機構造体の合成と機能開拓</li> <li>● Meiji Seika ファルマ研究企画賞：寄立麻琴（九州大学） 光触媒による特異なピニルラジカル発生法および新規フルオロアルケニル化反応の開発</li> </ul>	
法人運営関連会議	
本部関連	
第 85 回通常総会(定期社員総会；2/16；オンライン)	
運営委員会・理事会(1/26, 2/16, 4/14, 6/16, 9/15, 12/7)；オンライン併用	
財務・予算委員会(11 月下旬, 1 月下旬；メール報告)；分科会(実施なし)	
80 周年記念事業委員会(事業計画を審議；10/13, 随時オンライン会議)	
令和 5 年度役員候補者選出委員会(10/21)；オンライン併用	
支部関連【全支部】	
支部キャラバン(会長訪問・意見交換会)：実施	
北海道 6/27；東北 7/16；関東 10/6；東海 11/19；関西 5/30；中国四国 5/14；九州山口 6/3	
支部関連【関東支部】	
支部常任幹事会；4 回(4/26, 7/8, 10/6, 12/15)Web 併用、支部幹事会；2 回(4/26, 10/6)オンライン併用	
関東支部候補者推薦委員会；7/8；オンライン併用	
協会賞等支部推薦委員会；7/8；オンライン併用	
支部関連【東海支部】	
常任幹事会(2/19；名古屋・オンライン)	
支部総会(11/19；名古屋工業大学)	
支部関連【関西支部】	
幹事会；4 回（3/29 オンライン, 5/30 大阪科学技術センター・オンライン併用, 8/2 大阪科学技術センター・オンライン併用, 11/21 大阪科学技術センター）	
支部関連【中国・四国支部】	
幹事会・懇話会合同会議；2 回（5/14 広島大, 11/26 岡山大）	
支部関連【九州・山口支部】	
事務引継会；2/24；オンライン(参加者：R3/R4 幹事執行部、相談役、監査、事務局員)	
第 1 回幹事会；6/3；九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I・オンライン併用	
議題：2021 年度事業報告；2021 年度会計決算報告；2022 年度事業計画；2022 年度予算案；その他	
第 2 回幹事会；10/24；九州大学伊都キャンパス I2CNER 第一研究棟 大会議室	
議題：2022 年度中間事業報告；2022 年度中間会計報告；2023 年度事業計画；2023 年度予算案；その他	

事業報告附属明細書

令和 4 年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。